

科目名：歯科診療補助論Ⅳ (Assisiting for Dental PracticeⅣ) 履修年次/時期：2年次 前期 授業形態：実習 担当教員：山内 雅人(実務経験有)・山本 裕子(実務経験有)・関端 麻美(実務経験有)		必	2単位 (90 時間)
学修目的	歯科診療の補助・介助を安全で適切に行うための器具の取り扱いについて理解を深め、臨床に対応することができる能力を身につける。 CP: 2,3 に関連する。 科目 No. S2C12H17		
この科目が目的としている DP	1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1) 生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	
		(2) 医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○
	2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	(1) 教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○
		(2) 専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	◎
		(3) 社会の動向に関心をもち、学び続ける力を有する。	
	3. 口腔の健康支援を通し、全身の健康を守る高度な専門的能力を有する。	(1) 多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	
		(2) 優しさに溢れる歯科衛生士として地域社会に貢献する能力を有する。	
(3) 歯科衛生士としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。			
◎： この講義・演習・実習と最も関連がある DP ○： この講義・演習・実習と関連がある DP			
到達目標	①歯科器械の滅菌保管、診療室における管理を理解する。 ②下記の歯科診療の術式に沿って使用する機器の種類と使用を理解し、補助、介助ができる。 (1)保存修復治療 (2)歯内療法 (3)歯周治療 (4)補綴治療 (5)インプラント治療 (6)小児・歯科矯正治療 (7)口腔外科治療 (8)歯科訪問診療 (9)全身管理		
授業概要	講義：歯科診療が安全で円滑に行なわれるためには、歯科衛生士が診療の補助と介助を適切に行うことが必要である。そのための歯科診療用器具の用途や管理法、安全な器具の取り扱いについて講義・演習する。 演習：使用する機器は自らが手に取り使用することで一層理解が深まるため実際に器具を使用する。 神奈川歯科大学附属病院・横浜研修センター・クリニックにおいて診療に使用する器具の取り扱いを学ぶ。		
評価方法	筆記試験(90%)、その他(課題、レポート提出、授業態度)(10%)により評価する。 課題に対するフィードバックは授業にて行う。		
予習・復習時間	【予習】0.7時間 【復習】0.7時間		
教科書	医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 歯科機器		

<p>参考書</p>	<p>医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 保存修復学 歯内療法学 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 歯周病学 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 歯科補綴学 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 口腔外科学・歯科麻酔学 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 歯科放射線学 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 歯科矯正学 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論</p>
<p>お問い合わせ 連絡先</p>	<p>山内 雅人：(月～金) 16:30～17:00 yamauchi@kdu.ac.jp 4号館 2F (山内研究室) 山本 裕子：(月～金) 16:30～17:00 yamamoto.yuko@kdu.ac.jp 3号館 2F (山本研究室) 関端 麻美：(月～金) 16:30～17:00 sekibata@kdu.ac.jp 3号館 2F (教員研究室) 不在時はメールで連絡をお願いします。</p>

実施回	授業計画	予習・復習・キーワード	担当
1 (1, 2)	1) 歯科診療における機器の概説 * 新たな歯科医療技術に対応して開発された歯科機器について説明できる (p2~p5)。 2) 一般診療用機器 * 歯科用ユニット (p6~p21) について説明できる。 * 歯科用画像診断装置 (p26~p34) について説明できる。	予習：授業計画の「歯科機器」該当部分を読んでおくこと。 復習：マークシート式客観問題 (4×2=8 題) の課題を解くこと キーワード：口腔内スキャナー、CAD/CAMテクノロジー、外来環、か強診、パノラマ顎関節側方向 4 分割エックス線撮影、VF、VE	○山内
2 (3)	一般診療用機器 * エックス線撮影関連機器 (p34~p40) が説明できる。 * 滅菌・消毒用機器 (p21~p25) が説明できる。	予習：授業計画の「歯科機器」該当部分を読んでおくこと。 復習：マークシート式客観問題 (4×2=8 題) の課題を解くこと。 キーワード：エックス線フィルム、ウォッシュャーディスインフェクター、オートクレーブ	○山本
3 (4, 5)	歯科衛生にかかわる機器 * 口腔清掃用機器 (p41~p49) が説明できる。 検査・診断・歯周治療用機器 * 歯周治療用機器 (p103~p111) が説明できる。	予習：授業計画の「歯科機器」該当部分を読んでおくこと。 復習：マークシート式客観問題 (4×2=8 題) の課題を解くこと。 キーワード：超音波スケーラー、エアスケーラー、歯面清掃器、ファーケーションブローブ、手用スケーラー、CO ₂ レーザー、クレーンカプランのポケットマーカ、歯肉切除用メス、骨膜剥離子、シュガーマン・ペリオドンタルファイル	○山本 ○関端
4 (6)	検査・診断・治療用機器① * 歯および口腔検査用機器 (p61~p66) が説明できる。 * 歯および歯周組織検査用機器 (p67~p69) が説明できる	予習：授業計画の「歯科機器」該当部分を読んでおくこと。 復習：マークシート式客観問題 (4×2=8 題) の課題を解くこと。 キーワード：歯周ブローブ、電氣的根管長測定器	○関端
5 (7, 8)	検査・診断・治療用機器② * 切削用機器 (p77~p85) が説明できる。 * 成型修復用機器 (p86~p91) が説明できる。	予習：授業計画の「歯科機器」該当部分を読んでおくこと。 復習：マークシート式客観問題 (4×2=8 題) の課題を解くこと。 キーワード：エアタービン、カーバイトバー、ダイヤモンドポイント、セパレーター、トッフルマイヤーリテーナー、マトリックスバンド	○山本
6 (9, 10)	検査・診断・治療用機器③ * 印象採得用機器 (p112~p117) が説明できる。 検査・診断・治療用機器④ * 歯冠修復用機器 (p118~p124) * 歯内療法に使用する器具 (p92~p102) の名称、解体、用途について説明できる。	予習：授業計画の「歯科機器」該当部分を読んでおくこと。 復習：マークシート式客観問題 (4×2=8 題) の課題を解くこと。 キーワード：印象用トレー、印象用シリンジ、寒天コンディショナー、歯肉圧排用器材、シェードガイド、リムーバー、平行測定器、麻酔抜髄、感染根管治療、ファイル、リーマー、国際規格、根管拡大、根管形成、根管充填	○関端 ○角田
7 (11, 12)	検査・診断・治療用機器⑤ * 有床義歯用機器 (p125~p132) が説明できる。 ① 印象採得に関する器具の名称、形態、用途について説明できる。 ② 咬合採得に関する器具の名称、形態、用途について説明できる。	予習：授業計画の「歯科機器」該当部分を読んでおくこと。 復習：マークシート式客観問題 (4×2=8 題) の課題を解くこと。 キーワード：既製トレー、概形印象、研究用模型、個人トレー、筋圧形成、作業模型、咬合床、下顎安静位、安静位空隙、フェイスボ、ゴシックアーチ	○林 ○山内

8 (13, 14)	<p>検査・診断・治療用機器⑥ 口腔外科・麻酔用機器-1 ＊局所麻酔に用いる機器(p56)が説明できる。 ＊抜歯に使用する機器(p133～p137)が説明できる。 ＊軟組織に使用する機器(p137～p145)が説明できる。 ＊硬組織(骨)に使用する機器(p145～p147)が説明できる。 ＊酸素療法および笑気吸入鎮静に使用する機器(p147～p148)が説明できる。</p>	<p>予習：授業計画の「歯科機器」該当部分を読んでおくこと。 復習：マークシート式客観問題(4×2=8題)の課題を解くこと。 キーワード：浸潤麻酔、下顎孔伝達麻酔、キシロカイン、普通抜歯、難抜歯～埋伏歯抜歯、縫合、笑気吸入鎮静</p>	○山内
9 (15, 16)	<p>検査・診断・治療用機器⑦ 口腔外科用機器-2 ＊全身麻酔用機器(p57と「口腔外科・歯科麻酔」のp174～p186、p229～p231)が説明できる。 ＊救急救命機器(p58～p60、「口腔外科・歯科麻酔」のp206～p215、p259～p262)が説明できる</p>	<p>予習：授業計画の「歯科機器」と「口腔外科・麻酔」該当部分を読んでおくこと。 復習：マークシート式客観問題(4×2=8題)の課題を解くこと。 キーワード：全身麻酔、バイタルサイン、生体応答のモニタリング、静脈確保、一次救命</p>	○山内
10 (17, 18)	<p>検査・診断・治療用機器⑧ 矯正歯科用機器-1 ＊バンド装着に用いる機器(p150～p154)について説明できる。 ＊小児歯科用機器(p167～p171)について説明できる。</p>	<p>予習：授業計画の「歯科機器」該当部分を読んでおくこと。 復習：マークシート式客観問題(4×2=8題)の課題を解くこと。 キーワード：バンド(帯環)、歯間分離、バンド試適、バンド合着、乳歯用既製金属冠</p>	○山内 山本
11 (19, 20)	<p>検査・診断・治療用機器⑨ 矯正歯科用機器-2 ＊ブラケット装着に用いる機器(p155～p159)について説明できる。 ＊ワイヤーの屈曲・切断・結紮に用いる機器(p159～p166)について説明できる。</p>	<p>予習：授業計画の「歯科機器」該当部分を読んでおくこと。 復習：マークシート式客観問題(4×2=8題)の課題を解くこと。 キーワード：ブラケット、エッチング、ワイヤー屈曲、結紮</p>	○山内 関端
12 (21, 22)	<p>口腔機能管理演習 ＊口腔機能検査用機器(p70～p76)が説明できる。 ＊歯科訪問診療用機器(p182～p185)が説明できる。 ＊口腔機能の評価を列挙できる。 ＊口腔機能低下症の診断方法を理解する。 ＊フレイル、オーラルフレイルの評価方法を理解する。 ＊口腔の機能的問題の把握ができる。 ＊口腔機能測定に使用する機器の操作ができる。</p>	<p>予習：「歯科予防処置論・歯科保健指導論」P153～p158、p363、p364と「歯科機器」P70～p76を読んでおくこと。 復習：マークシート式客観問題とレポート課題を提出すること。 (4×2=8題)の課題を解くこと。 キーワード：嚥下機能検査、舌圧検査機器、咬合測定機器、歯科訪問診療用機器 口腔機能低下症、オーラルディアドコキネシス、頸部聴診</p>	○関端 山本
13 (23, 24)	<p>神奈川歯科大学附属病院、神奈川歯科大学附属横浜研修センター・横浜クリニックの診療および診療施設・器具の見学実習(1)</p>	<p>復習：レポート</p>	○山本 ○関端
14 (25, 26)	<p>神奈川歯科大学附属病院、神奈川歯科大学附属横浜研修センター・横浜クリニックの診療および診療施設・器具の見学実習(2)</p>	<p>復習：レポート</p>	○山本 関端
15 (27, 28)	<p>1)検査・診断・治療用機器⑩ インプラント治療とそのメンテナンスに関連する機器 ＊インプラント治療に用いる機器(p172～p181)と「歯科補綴」のp104～p113、190～193)について説明できる。 2)総まとめ</p>	<p>予習：授業計画の「歯科機器」と「歯科補綴」該当部分 復習：マークシート式客観問題(4×2=8題)の課題を解くこと。 キーワード：インプラント埋入手術器具、ティッシュマネジメント、上顎洞挙上術、インプラント二次手術ブランクコントロールとメンテナンス</p>	○林 山内 山本 関端